

事務事業名	消防用機械器具整備事業		所属部	防災部	所属課	くらし安全室		
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	くらし安全G	課長名	室長 加藤信也	
	施策名	〈16〉消防・防災対策の推進		担当者名	加藤信也		電話番号	0854-40-1027 (内線) 2352
	目的対象	市民	意図	生命・財産を火災・災害から守る。			予 算	0:1:4:5:0:3
	基本事業	〈047〉防火施設と消防体制の充実		科目	0:5:1:5:0:2	大 事 業 名	消防施設整備事業	
目的対象	市民	意図	火災による被害にあわない。			中 事 業 名	消防機器整備事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
ポンプ車、小型動力ポンプ付積載車	火災時に円滑な消防活動ができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	・消防団車両(消防ポンプ車、小型動力ポンプ付積載車)及び小型動力ポンプ等の更新及び修繕に関する事業。 ・消防団車両(R3.4.1現在保有台数:83台)の更新にあたっては、更新計画に基づき単年度あたり3～5台の更新を実施。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・車両更新 小型ポンプ付軽積載車5台 ・修繕等 5件(ポンプ車3件、小型ポンプ2件)	・令和2年10月に消防団車両等の更新計画を策定。導入後25年を目途に車両等の更新を図る方針。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 機械器具等の修繕件数	件	15	10	5	10
イ 車両等更新件数	件	3	3	5	5
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
			千円	千円	千円	千円	
・小型動力ポンプ付軽積載車5台の更新 31,900千円(起債名:緊急防災) ・軽積載車装備品購入 2,873千円 ・小型ポンプ、車両等の修繕 1,247千円 ・消防車両登録手数料等 456千円 計:36,476千円	財源内訳	国庫支出金					
		県支出金					
		地方債	千円	33,500	16,900	30,500	37,500
		その他	千円	78			
		一般財源	千円	6,011	5,833	5,976	2,569
	事業費計	千円	39,589	22,733	36,476	40,069	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・消防車両等更新計画に基づき、小型動力ポンプ付軽積載車5台(AT車)の更新を行った。また、修理が必要となった消防車両、小型ポンプの修繕を適宜実施した。
② 事業実施するうえでの課題	・R3年度末時点で導入後25年を経過する車両が83台中14台あり、早急な更新が必要となっている。 ・道路交通法の改正により、平成29年3月12日以降に普通運転免許を取得した消防団員では車両総重量が3.5トンを超えるポンプ車等が運転できない。また、消防車両の大半がMT車であり、AT限定免許を所持する団員は運転ができない。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・消防団の状況を踏まえながら、適切な車両及び装備品の導入を検討する。 ・平成29年3月12日以降に普通運転免許を取得した団員に対する準中型免許取得経費支援を検討する。また、今後の車両更新にあたっては3.5トン未満の車両の導入を進める。 ・AT限定免許を所持する団員に対するAT限定解除経費支援を検討するとともに、今後の更新にあたってはAT車の導入を進める。